

令和5年度入学試験問題（後期日程）

問 題 解 決 ・ 提 案 力 テ ス ト

芸術地域デザイン学部
芸術地域デザイン学科
地域デザインコース

－ 解 答 上 の 注 意 事 項 －

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 受験票、筆記用具[鉛筆(シャープペンシル、赤えんぴつを含む)、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、小型三角定規、直線定規]、眼鏡及び時計以外の物は、机に出してはならない。
- 3 配付物は以下の6点である。問題冊子1部、解答用紙2枚(原稿用紙1枚、プレゼンテーション資料作成用紙1枚)、下書き用紙1枚(A3用紙)、黒ペン1本、赤ペン1本。
- 4 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

問1 文化芸術活動の発展を目的とした計画づくりの一環として、福岡市が文化芸術活動に対する市民の意識について、アンケート調査（郵送による）を行いました。その調査結果を抜粋したものが図1～3です。

図1～3から読み取れること、推測できることに触れながら、10代・20代が行う文化芸術活動の活性化が地域にもたらす効果について、800字以内の文章として論じなさい。

なお、10代・20代が行う文化芸術活動は、福岡市などの特定の地域を想定する必要はありません。

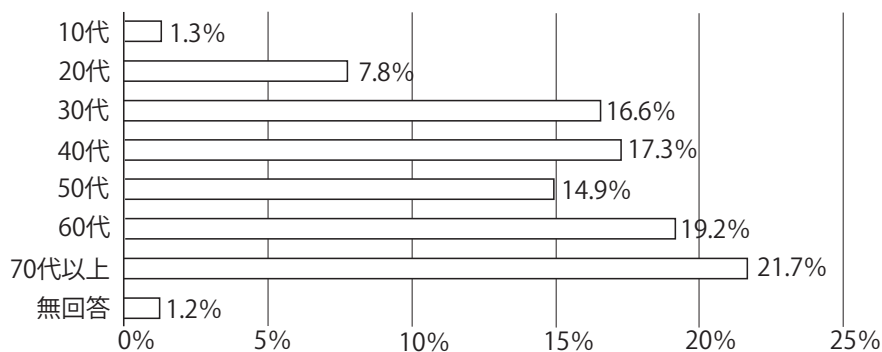


図1 アンケート回答者の年齢構成（出典；『福岡市文化芸術振興計画』、2019年、福岡市、一部改変して作成）

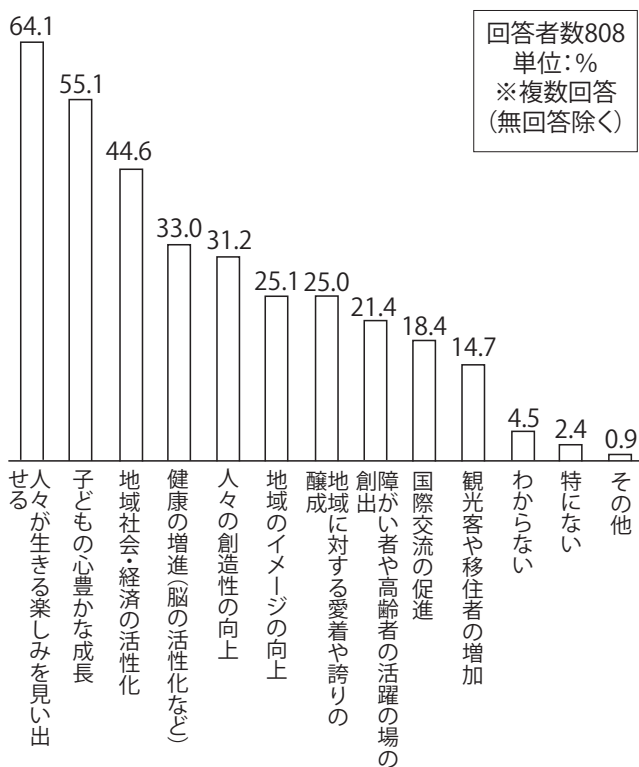


図2 福岡市において、文化芸術の振興が図られることにより社会にもたらされる効果として期待すること（出典；『福岡市文化芸術振興計画』、2019年、福岡市、一部改変して作成）

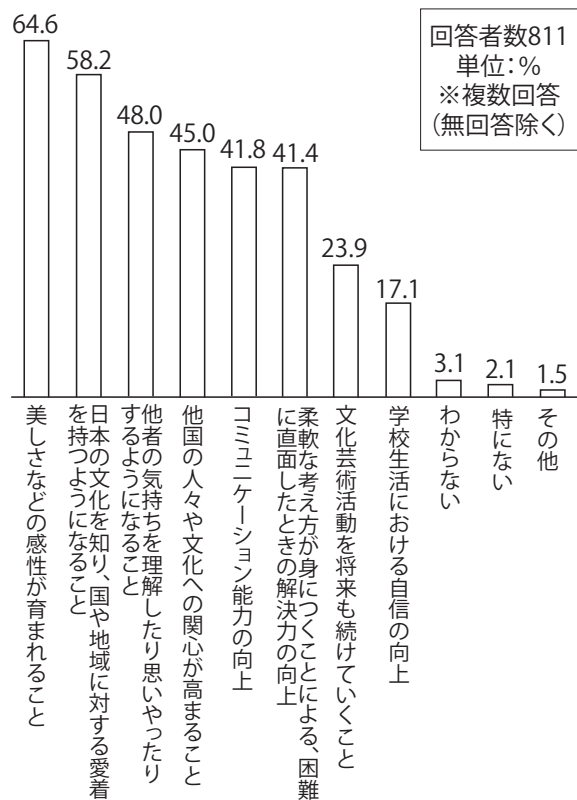
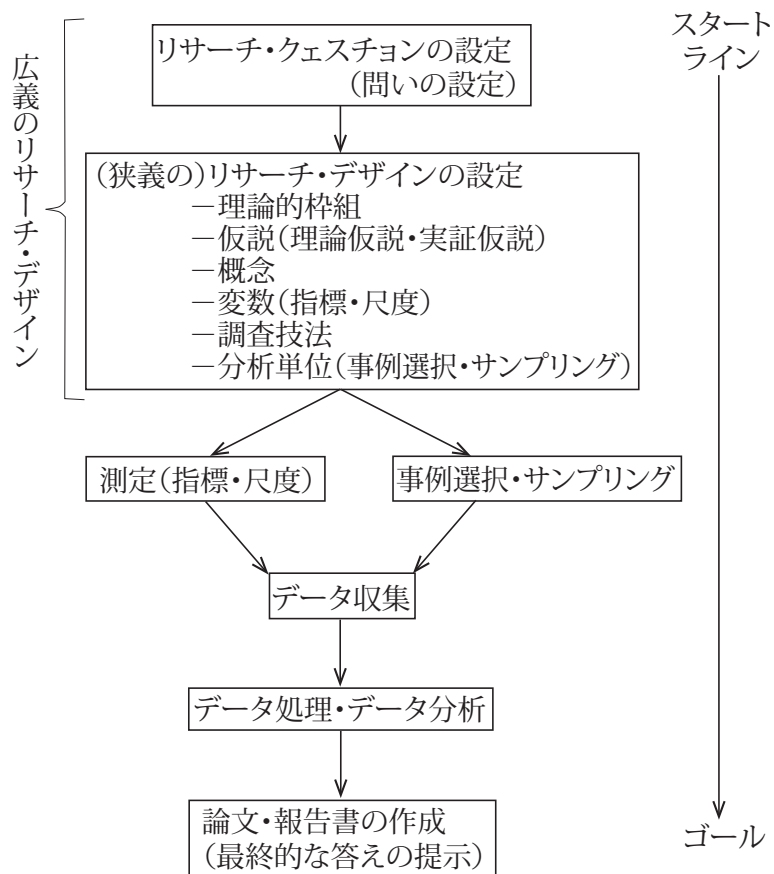


図3 福岡市において、文化芸術を通して子どもにもたらされる効果として期待するもの（出典；『福岡市文化芸術振興計画』、2019年、福岡市、一部改変して作成）

問2 問1、図1～3に示した調査結果を踏まえ、高校生・大学生のような若い世代が文化芸術活動にどのような意識をもつか、さらに調査を行うこととなりました。その調査は、アンケート以外の方法もあり得るとします。

次の図4をモデルとして、どのような調査を行うかを考え、「若い世代の文化芸術活動に関する意識調査の提案」というタイトルで、プレゼンテーション資料作成用紙に具体的にまとめなさい。(文章のみ、図、イラストなど表現方法は問わない。)

なお、図4にある「理論的枠組み」はここでは特に設定しなくても問題ありません。



- リサーチ・クエスチョン**； どのような問題関心にもとづいて、どのような問いを設定するのか
- 仮説**； どのような理論仮説と実証仮説をリサーチ・クエスチョンに対する仮の答えとして設定するのか
- 理論**； 問いに対する答えを求める上で、どのような**理論的枠組み**を採用するのか
- 概念・変数**； 採用した理論的枠組みに含まれるさまざまな概念の中でも、特にどの概念を**キー・コンセプト**に設定し、また、それをどのような**変数**として操作化した上でデータを収集するのか
- 事例・分析単位**； 調査データを収集する際の**事例**ないし**基本的な分析単位**として、どのような対象(個人、集団、組織等)を設定するのか
- 技法**； データの収集と分析を行う上で、どのような**調査技法**を採用するのか

図4 社会調査における一連の作業 (出典；佐藤郁哉『社会調査の考え方 [上]』、2015年、東京大学出版会、一部改変して作成)